

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 水道課

シート No.： 94 作成日： 2025.5/2

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的 近年、地震や水害などの災害が多く発生しており、今まで以上に水道水の安定供給が重要となっています。特に、浄配水場から避難所や基幹病院などの重要給水施設に繋がる水道管の耐震性は不十分のため、今後、基幹管耐震化に取り組む必要があります。	事務事業の目標 ・重要給水施設配水管は、災害時における常総市の指定する避難所として重要な施設及び基幹病院等に給水するための配水管であり、4か所の配水場を起点として重要施設までの過去に布設した管路の内特に耐震性の低い硬質塩化ビニル管を耐震性の高い管種に更新するものとします。 ・安全な水を供給するために、日々の水質維持に取り組めます。
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める		
	施策	4 上水道		
	施策内容	水源確保と水質の適正管理		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市水道ビジョン		
事務事業名		配水管耐震化事業		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
配水管耐震化工事の実施 （R 6・7）	耐震性の低い配水管を耐震性の高い管に更新し、災害時でも安定して水を供給できるようにします。	耐震管路更新延長 （Km）	3.3	2.2	484,120 千円	471,988 千円
			3.3	—		
配水管末端部の排泥作業 （R 6）	配水管内の水が滞留による濁りや塩素濃度が低下しないよう、日常的に管路末端部で排泥作業をすることで、水質の維持管理を行います。	作業日数（日）	120	—	0 千円	0 千円
			140	—		
浄配水場及び末端給水施設での水質検査 （R 6）	浄配水場から離れている末端給水施設で塩素濃度を毎日計測することで、水質が維持されているか確認します。	—	—	—	0 千円	0 千円
			—	—		
水源（地下水取水井）の水位観測 （R 6）	茨城県地下水の採取の適正化に関する条例に基づき地下水の保全と適正な採取を行うため、水源（地下水取水井）の水位を常に観測します。	—	—	—	588 千円	588 千円
			—	—		
水道施設の運転状況監視 （R 6）	水道施設の運転状況を常時監視し、上水道の安定した給水を図ります。	—	—	—	700 千円	700 千円
			—	—		
水道施設設備の定期点検の実施 （R 6）	取水井や浄配水施設の電気機械設備等を定期点検し、緊急性の高い修繕及び設備更新を実施します。	—	—	—	17,800 千円	17,765 千円
			—	—		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
耐震適合性のある管路による配水を受ける重要施設の数	20 施設 （R 7）	11 施設
水道施設設備の更新数	1 施設 （R 6）	1 施設

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
令和3年度から実施している重要給水施設の配水管耐震化工事は、近年多発する災害に備えるための重要な事業と捉えており、計画どおり工事を行いました。また、定期点検に基づいた設備更新を行い、日々の水質管理を実施したことで、安全な水を給水できました。	来年度、重要給水施設に繋がる水道管の耐震化が完了予定ですが、今後も老朽管の更新などを行うときは、耐震性の高い管種での布設を行います。また定期的な水質検査、水道設備更新を実施し、安全な水道水の安定供給に努めます。			